

認知症の方の家族のつどい「あびこ」 言の葉~ことのは~

【参加してくださった方々の言葉を集めてみました】

- ☆子どもたちは自分の生活でいっぱいだろう。自分の将来の事を考えるようになった。
- ☆親をほぼ一人で介護していた姉が認知症と診断された。本人は認知症だと理解していない。
- ☆一人暮らしをしている高齢の母。先日ショートスティを利用したが、本人は旅館にいるつもりのようだった。
- ☆夫が認知症と診断された。本人は自分が物忘れをしている事が不安な様子で何回もカレンダーを確認している。
- ☆ 義母を自宅で看取った。今は足を踏み出そうと思っている。もう一つの介護がある。ここに来ると認知症の事が話せる。 周りに話せないので嬉しい時間。
- ☆最近自分自身の事に真剣に向き合っている。子どもの事、お墓の事、これからどう生きていくかをよく考えている。

【我孫子市高齢者なんでも相談室から】

- ☆ 参加された方から認知症の夫の事をご近所や周りの方に話すことができたという話しがありました。気持ちの整理がつくまでは葛藤があったと思います。誰かに聞いてもらう、同じ悩みの方がいる事を知るだけでも気持ちが救われるとのお話もありました。「高齢者なんでも相談室」では介護相談に応じています。一人で抱え込まずお気軽にご相談ください。
- ☆ 初めての方が参加され、ご相談を参加者同士の経験からお話して頂きました。ご家族介護の経験があり、実際に行っているからこそ共感して話せることもあるように感じました。お時間があれば介護者同士の話す機会を作って欲しいです。

認知症の方の家族のつどい あびこ

開催日時 偶数月 第二水曜

予約 要事前予約・無料・定員 10 名

高齢者支援課 04-7185-1112

8/2 (月) 予約開始

対象 認知症の家族・親族を介護されている方

介護を終えられた方(見学はご遠慮ください)

会場 けやきプラザ 7 階 研修室



発行者 千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センター 〒270-1151 千葉県我孫子市本町 3-1-2 けやきプラザ 1F 【Itl】04-7165-2886 【FAX】04-7165-2882

無断転載・複写はご遠慮ください 内容は実際のお話から編集している場合があります